

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 5 区分

【発行日】平成27年7月16日(2015.7.16)

【公表番号】特表2015-500755(P2015-500755A)

【公表日】平成27年1月8日(2015.1.8)

【年通号数】公開・登録公報2015-002

【出願番号】特願2014-513632(P2014-513632)

【国際特許分類】

B 6 0 J 5/10 (2006.01)

【F I】

B 6 0 J 5/10 K

【手続補正書】

【提出日】平成27年5月28日(2015.5.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

テールゲートロッドが通過するガーニッシュ内の通路のためのカバーであって、
前記通路を協同して塞ぐよう形成された外形を有する本体からなり、
前記外形は、対向する側壁と、傾斜を有する第 1 の内向き傾斜端部壁と、前記第 1 端部
壁よりも大きな傾斜を有する第 2 の端部壁と、前記本体の基部領域に近接する開口部と、
を含むカップ状領域をさらに形成する、カバー。

【請求項 2】

前記第 1 の内向き傾斜壁は、前記第 2 の内向き傾斜壁の長さよりも大きい長さを有する
請求項 1 に記載のカバー。

【請求項 3】

前記外形から延び、かつ、前記開口部と交わる前記壁のいずれか 1 つにおける隙間をさ
らに含む請求項 1 に記載のカバー。

【請求項 4】

前記対向する側壁は、ほぼ平行な面内に存在する請求項 1 に記載のカバー。

【請求項 5】

前記第 2 の端部壁は、内向きに傾斜している請求項 1 に記載のカバー。

【請求項 6】

自動車に関するテールゲートであって、
前記テールゲートは、このテールゲートを開閉するため前記自動車内に設けられたモー
タとロッドを介して連結されており、
前記テールゲートは、
前記ロッドへの取付部と、
前記取付部に重なりとともに、凹状キャビティを形成するカバーと、
前記第 2 端壁の傾斜よりも大きな傾斜を有する第 1 端壁と、
前記凹状のキャビティに形成されている通路と、から成り、
前記凹状キャビティは、第 1 及び第 2 の端部壁を有しており、前記第 1 端部壁は前記第
2 端部壁の傾斜よりも大きい傾斜を有している、テールゲート。

【請求項 7】

前記凹状キャビティは円錐台の形をしている請求項 6 に記載のテールゲート。

【請求項 8】

前記第 1 及び第 2 端部壁は、底壁と交わる請求項 6 に記載のテールゲート。